

議 事 録

件 名	第 2 3 回防災対策委員会	
日 時	平成 3 1 年 3 月 2 0 日 (水) 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0	
場 所	メルクス職員会館 2 階会議室	
出席者	委 員	堀委員長、田島副委員長、深山委員、高木委員、原委員、古賀 (文) 委員 古賀 (亮) 委員、江藤委員、宮崎委員、草場委員、川崎委員、大野委員
	事務局	防災対策課 桑野主査、網中 地域福祉課 植松主査
欠 席 者	長岡委員、合戸委員、漆原委員	
傍 聴 者	なし	
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 平成 3 1 年度のスケジュールについて</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 平成 3 0 年度の取り組み実績について</p> <p>(2) 平成 3 1 年度の取り組み方針 (案) について</p> <p>(3) 活動指標 (データ) の見直しについて</p> <p>(4) 広報啓発活動について</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉会</p>	
質 疑	<p>(1) 平成 3 0 年度の取り組み実績について</p> <p>委員① 避難行動要支援者の名簿はいつ配布されるのか。</p> <p>事務局 毎年更新をして、5 月~6 月の梅雨前にかけて配布を予定している。</p> <p>委員② 資料の中の「災害時要援護者」は「避難行動要支援者」に統一してはどうか。</p> <p>事務局 前回の再認証時の資料ではそうだが、今後は「避難行動要支援者」に統一する。</p> <p>委員長 一般の人は「避難行動要支援者」を知らない人が多い。地域にはどのように広報していくのか。</p> <p>事務局 各関係団体にあらためて説明をしていく。防災に関する研修など市民向けに周知をしていきたい。</p> <p>(2) 平成 3 1 年度の取り組み方針 (案) について</p> <p>委員① 防災士と防災リーダーの位置づけはどうなっているのか。</p> <p>事務局 防災リーダーは自治会に最低 1 人養成することを考えており、防災士を補助する役割を持つ。平常時は自治会で地域において啓発活動を実施する。災害時は自治会長を補佐する。</p> <p>委員① 防災士の指針のようなものはあるか。</p> <p>委員③ 防災士に訓練を任せてみてはどうか。</p> <p>委員② 防災士は地域での減災啓発がメイン。防災士は地域に還元することが目的だと考えている。西国分は校区の防災士がまちづくりに提案して事業を実施しているため、校区が防災士に遠慮する必要はないと思う。</p>	

議 事 録

委員① 引っ張ってほしいとは思いますが、校区からお願いして防災士になってもらっているため防災士に依頼しづらい。

委員② 防災リーダー養成事業は是非進めてもらいたい。リーダー同士の意見交換を実施してほしい。早い段階で実施してほしいと考えている。

(3) 活動指標（データ）の見直しについて

質疑なし

(4) 広報啓発活動について

質疑なし

4. その他

委員① 避難所に備蓄している食料は期限がきたら捨てているのか。

事務局 備蓄食の入れ替えを久留米市が実施しているが、賞味期限間近の食料は校区の防災訓練等で啓発として使用してもらっているため、捨ててはいない。

委員④ 女性の防災士を12名養成しているが、年齢層を教えて欲しい。

事務局 30代や40代の方もいるが、全体としては30代から70代の幅広い世代が資格を取得している。